

令和7年度

富山県民生涯学習カレッジ運営会議

[ 資 料 ]

I 令和7年度実績・令和8年度予定

(P1~8)

II 富山県民生涯学習カレッジの運営に係る現状と課題

(P9~13)

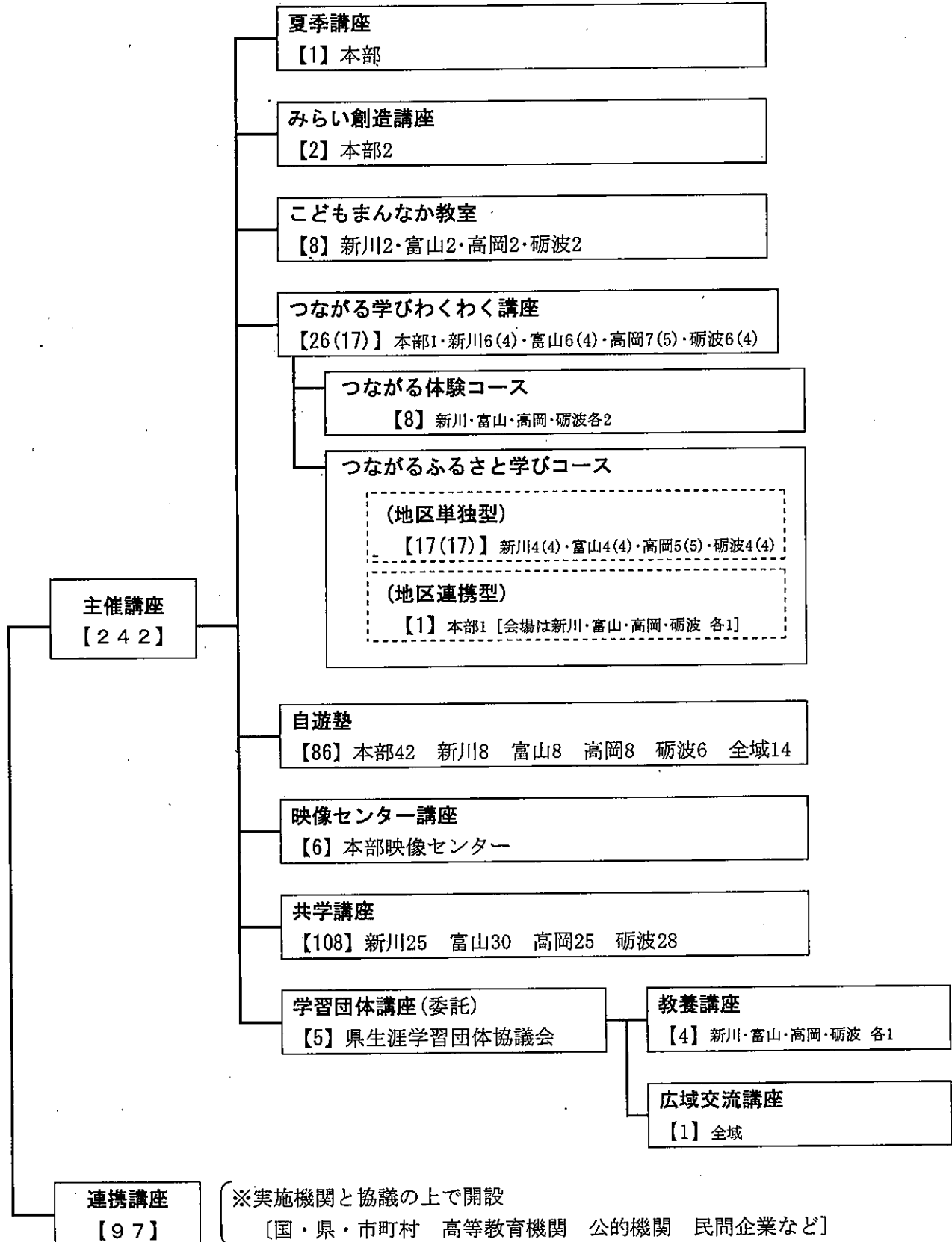
**参考資料** 富山県民生涯学習カレッジの概要

# I 令和7年度実績・令和8年度予定

## 1 令和7年度 実施講座

※ 【 】: 講座数

( ) : 並行してオンライン自宅受講を行った講座数 (内数)



## 2 主な講座の講座数と受講者数の推移

No	年 度		令和5		令和6		令和7	
	講 座 名		講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
1	夏季講座		1	484	1	582	1	576
2	ウェルビーイング実現講座（大型）		3	1,115	2	695	—	—
3	みらい創造講座		—	—	—	—	2	847
4	ウェルビーイング実現講座（通年）		4	139	4	149	—	—
5	こどもまんなか教室		—	—	—	—	8	168
6	つながる学びわくわく講座		28	889	26	865	26	904
7	自遊塾		83	1,138	81	1,117	86	1,146
8	映像センター講座		4	67	4	57	6	50
9	共学講座		120	620	118	627	108	519
10	学習団体講座		5	448	5	443	5	471
小 計			248	4,900	241	4,535	242	4,681
11	連携講座	実施機関数	18		17		16	
		講座数	定員	131	6,464	104	6,272	97
合 計			379	11,364	345	10,807	339	10,763

### 3 令和7年度 実績

#### (1) 講座関係

項目	実績						
夏季講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年8月30日(土)に東京大学名誉教授の養老孟司氏を招き、「日本人の壁」と題して講座を開催した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>受講者数</td> <td>576名</td> </tr> </table>	受講者数	576名				
受講者数	576名						
みらい創造講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の具体的な体験から、未来の豊かな人生のあり方を展望できる講演会形式の講座を開講した。</li> <li>令和7年10月4日(土)に明治大学教授の齋藤孝氏、令和8年2月8日(日)に落語家の春風亭昇吉氏を講師として招いて開催した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>講座数</td> <td>2講座</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>847名</td> </tr> </table>	講座数	2講座	受講者数	847名		
講座数	2講座						
受講者数	847名						
こどもまんなか教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生とその家族が地域の魅力を体験しながら学ぶ機会を提供する講座を各地区センターで開催した。</li> <li>各地区が工夫した内容で各2回開講した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>講座数</td> <td>8講座(各地区2回)</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>71組168名(うちこども90名)</td> </tr> </table>	講座数	8講座(各地区2回)	受講者数	71組168名(うちこども90名)		
講座数	8講座(各地区2回)						
受講者数	71組168名(うちこども90名)						
つながる学びわくわく講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験と学びを通した「つながる楽しさ」を提供する講座として、「つながる体験コース」および「つながるふるさと学びコース(地区単独型・地区連携型)」を開催した。</li> <li>「つながるふるさと学びコース(地区単独型)」は、すべてオンラインで配信し、自宅受講が可能な受講形態とした。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>講座数</td> <td>26講座(うちオンライン並行配信17講座)</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>904名(うちオンライン受講119名)</td> </tr> </table>	講座数	26講座(うちオンライン並行配信17講座)	受講者数	904名(うちオンライン受講119名)		
講座数	26講座(うちオンライン並行配信17講座)						
受講者数	904名(うちオンライン受講119名)						
共学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校の授業の一部の科目を、社会人向けに提供し、受講者が高校生と共に学んだ。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>講座数</td> <td>108講座</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>519名</td> </tr> </table>	講座数	108講座	受講者数	519名		
講座数	108講座						
受講者数	519名						
映像センター講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像制作セミナー、16mm映写機操作技術認定講習などを開催した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催数</td> <td>6講座</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>50名</td> </tr> </table>	開催数	6講座	受講者数	50名		
開催数	6講座						
受講者数	50名						
自遊塾	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募によるボランティア講師(県民教授)が講座を開設し、塾生とともに学びあう講座を開催した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>県民教授</td> <td>68名</td> </tr> <tr> <td>開催講座数</td> <td>86講座</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>1,146名</td> </tr> </table>	県民教授	68名	開催講座数	86講座	受講者数	1,146名
県民教授	68名						
開催講座数	86講座						
受講者数	1,146名						
学習団体講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習協議団体に委託し、各地区の教養講座(4講座)と全県対象の広域交流講座(1講座)の計5講座を開講した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>受講者数</td> <td>471名</td> </tr> </table>	受講者数	471名				
受講者数	471名						

項目	実績						
連携講座	・市町村・大学・企業など関係機関が、県民カレッジと連携して講座を開催した。修了者には県民カレッジの単位を認定している。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>連携機関数</th> <th>開催講座数</th> <th>定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16 機関</td> <td>97 講座</td> <td>6,082 名</td> </tr> </tbody> </table>	連携機関数	開催講座数	定員	16 機関	97 講座	6,082 名
	連携機関数	開催講座数	定員				
16 機関	97 講座	6,082 名					

## (2) 事業関係

項目	実績																												
学習情報提供	<p>・富山県生涯学習情報提供システム(とやま学遊ネット)を運用し、県民に各種講座等の学習機会・講師・学習団体など、生涯学習情報を提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5(年間)</th> <th>R6(年間)</th> <th>R7(4~1月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検案件数</td> <td>815,184 件</td> <td>1,163,062 件</td> <td>(449,803 件)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R5(年間)	R6(年間)	R7(4~1月)	検案件数	815,184 件	1,163,062 件	(449,803 件)																				
年度	R5(年間)	R6(年間)	R7(4~1月)																										
検案件数	815,184 件	1,163,062 件	(449,803 件)																										
学習相談	<p>・各種講座の受講相談や、講師照会・講座内容の企画相談、視聴覚教育・機材の利用、映像制作等についての県民からの相談に対応した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5(年間)</th> <th>R6(年間)</th> <th>R7(4~1月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習相談件数</td> <td>13,984 件</td> <td>12,447 件</td> <td>(8,297 件)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R5(年間)	R6(年間)	R7(4~1月)	学習相談件数	13,984 件	12,447 件	(8,297 件)																				
年度	R5(年間)	R6(年間)	R7(4~1月)																										
学習相談件数	13,984 件	12,447 件	(8,297 件)																										
本部学遊祭	<p>・令和7年10月4(土)に開催した学遊祭は、県民カレッジ、生涯学習団体協議会、雷鳥会が共催し、県民に対して学習の成果を発表した。ホールでは、「ウェルビーイング実現講座」も行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>979 名</td> <td>1,137 名</td> <td>1,667 名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R5	R6	R7	参加者数	979 名	1,137 名	1,667 名																				
年度	R5	R6	R7																										
参加者数	979 名	1,137 名	1,667 名																										
地区学遊祭・キャンパスフェスティバル	<p>・各地区センター講座の受講者等が、日頃の学習の成果を発表することで交流した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>2,340 名</td> <td>2,482 名</td> <td>2,363 名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R5	R6	R7	参加者数	2,340 名	2,482 名	2,363 名																				
年度	R5	R6	R7																										
参加者数	2,340 名	2,482 名	2,363 名																										
カレッジ叢書	<p>・令和7年度夏季講座(養老孟司氏)を叢書119号にまとめ、県内の学校や図書館等に配布する予定である。</p>																												
学習活動支援サービス	<p>・県民カレッジの講座受講による修得単位や、学習履歴を記録する「県民カレッジカード」を発行して受講意欲を高め、学習活動を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>R5(1月末現在)</th> <th>R6(1月末現在)</th> <th>R7(1月末現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">カレッジカード所有者数</td> <td>総数</td> <td>58,414 名</td> <td>58,871 名</td> <td>59,323 名</td> </tr> <tr> <td>うち新規</td> <td>501 名</td> <td>457 名</td> <td>452 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「マイページ会員」登録受講者を対象に、インターネット上で主催講座の申込みや学習履歴の確認ができるサービスを提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>R5(1月末現在)</th> <th>R6(1月末現在)</th> <th>R7(1月末現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">マイページ会員数</td> <td>総数</td> <td>1,583 名</td> <td>1,734 名</td> <td>1,896 名</td> </tr> <tr> <td>うち新規</td> <td>160 名</td> <td>151 名</td> <td>162 名</td> </tr> </tbody> </table>	年度		R5(1月末現在)	R6(1月末現在)	R7(1月末現在)	カレッジカード所有者数	総数	58,414 名	58,871 名	59,323 名	うち新規	501 名	457 名	452 名	年度		R5(1月末現在)	R6(1月末現在)	R7(1月末現在)	マイページ会員数	総数	1,583 名	1,734 名	1,896 名	うち新規	160 名	151 名	162 名
年度		R5(1月末現在)	R6(1月末現在)	R7(1月末現在)																									
カレッジカード所有者数	総数	58,414 名	58,871 名	59,323 名																									
	うち新規	501 名	457 名	452 名																									
年度		R5(1月末現在)	R6(1月末現在)	R7(1月末現在)																									
マイページ会員数	総数	1,583 名	1,734 名	1,896 名																									
	うち新規	160 名	151 名	162 名																									

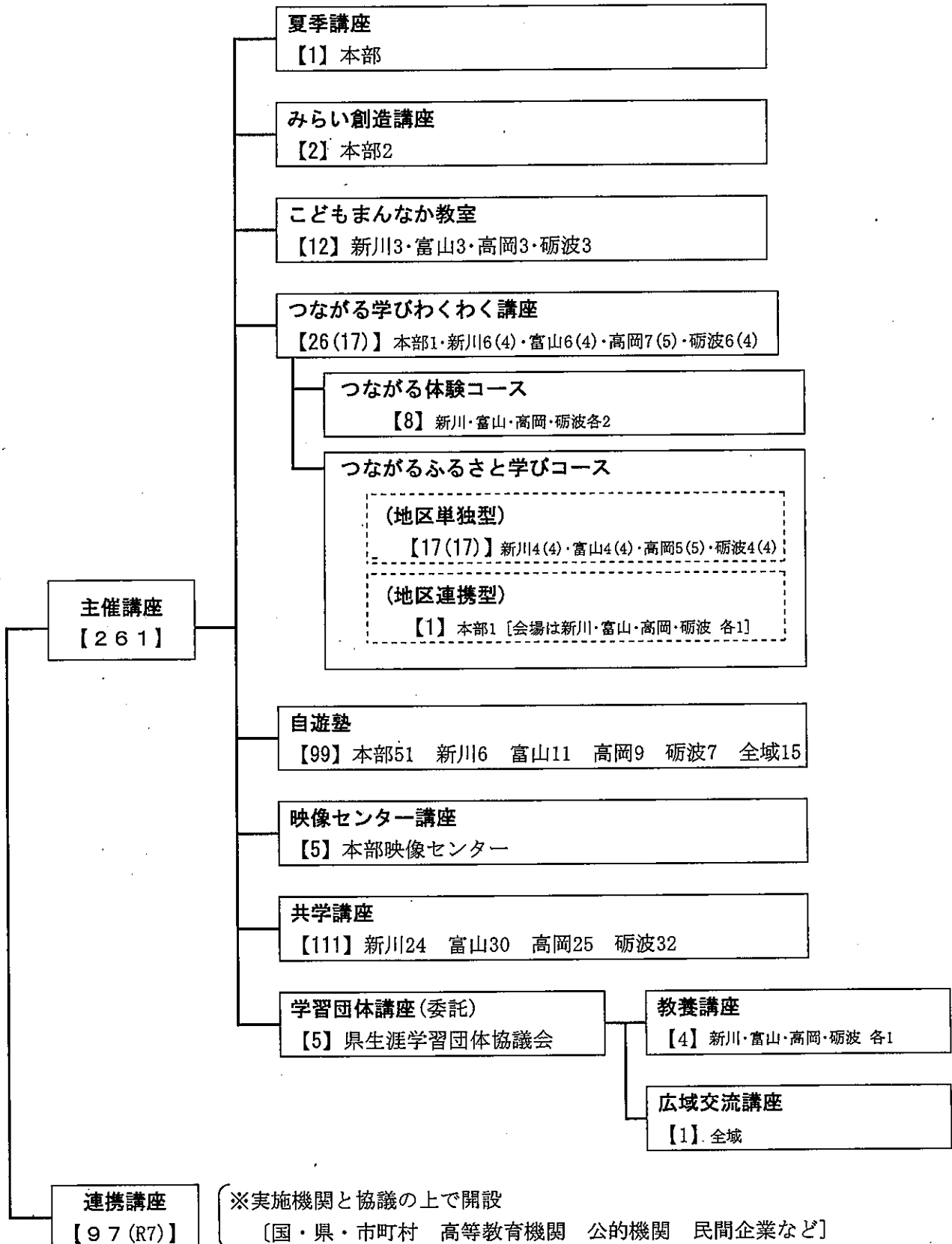
(3) 映像活用推進関係

項 目	実 績												
ふるさととやまの映像の制作と配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土学習教材の制作・配布 作品数 58 作品 DVD教材「技と心をつないで 越中福岡の菅笠」</li> <li>DVD教材「旬の映像」「映像でつづる思いでの富山」の制作 富山の四季、祭り、文化等をテーマとした映像作品 作品数 111 作品</li> <li>「とやまデジタル映像ライブラリー」にてネット配信</li> </ul>												
優秀映像鑑賞推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>優秀映画上映会の開催 集会等で利用可能の上映権付き映像作品を上映 わくわくシアター (ハイビジョン学習室) おやこシアター (ハイビジョン学習室) 学遊祭映像上映会 (教育文化会館集会室) カレッジわくわくシアター (各地区センター) 郷土学習教材完成披露上映会 (高岡市ふくおか総合文化センター)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="418 788 1099 922"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>70 回 (1 月末現在)</td> <td>2,076 名 (1 月末現在)</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>81 回</td> <td>1,780 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(学遊祭映像上映会は除く)</p>	年度	開催数	参加者数	R7	70 回 (1 月末現在)	2,076 名 (1 月末現在)	R6	81 回	1,780 名			
年度	開催数	参加者数											
R7	70 回 (1 月末現在)	2,076 名 (1 月末現在)											
R6	81 回	1,780 名											
映像の貸出等活用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>所蔵映像、機材の無料貸出・利用相談 (R7 より団体へは最長 14 日間へ期間延長)</li> <li>「県映像センター利用カード」の発行</li> </ul> <table border="1" data-bbox="418 1057 1323 1191"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>映像貸出件数</th> <th>視聴者数</th> <th>機材貸出件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>2,544 件 (1 月末現在)</td> <td>39,606 名 (1 月末現在)</td> <td>367 件 (1 月末現在)</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1,758 件</td> <td>25,437 名</td> <td>249 件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	映像貸出件数	視聴者数	機材貸出件数	R7	2,544 件 (1 月末現在)	39,606 名 (1 月末現在)	367 件 (1 月末現在)	R6	1,758 件	25,437 名	249 件
年度	映像貸出件数	視聴者数	機材貸出件数										
R7	2,544 件 (1 月末現在)	39,606 名 (1 月末現在)	367 件 (1 月末現在)										
R6	1,758 件	25,437 名	249 件										

## 4 令和8年度 実施講座

※【 】: 講座数

( ): 並行してオンライン自宅受講を行う講座数 (内数)



## 5 令和8年度 予定

### (1) 講座関係

項 目	予 定
夏季講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野の著名な講師を招き、講演会形式の講座を開講する。</li> <li>・8月29日(土)に開催する。</li> </ul>
みらい創造講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の具体的な体験から、未来の豊かな人生のあり方を展望できる講演会形式の講座を開講する。</li> <li>・10月3日(土)および11月又は12月に開催する。</li> </ul>
こどもまんなか 教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生とその家族が地域の魅力を体験しながら学ぶ機会とする。</li> <li>・各地区センターにおいて、独立した講座を年3回開講する。</li> </ul>
つながる学び わくわく講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験と学びを通した「つながる楽しさ」を提供する、以下の26講座を開講する。</li> <li>○「つながる体験コース」(8講座) 現地研修を取り入れたり、映像を視聴したりして、ふるさとの姿に触れることを重視する。</li> <li>○「つながるふるさと学びコース(地区単独型)」(17講座) 地方創生の観点から、地域コミュニティの再生、地域の歴史と文化の見直し、自然保護などを扱う。グループ協議や意見発表会、作品発表等も取り入れ、交流型・発信型の講座とする。本コースすべての講座をオンラインで配信し、自宅受講も可能とする。</li> <li>○「つながるふるさと学びコース(地区連携型)」(1講座) ふるさと・郷土史の調査研究・普及啓発等の取り組みをしている方を講師として招き、オンライン配信も活用してその取り組みを広く県内全域に伝える。</li> </ul>
共学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4地区センター合わせ、111講座を開講する。</li> </ul>
映像センター講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像センター講座を5講座開講する。</li> </ul>
自遊塾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・99講座の塾生を募集する。</li> </ul>
学習団体講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養講座4講座、広域交流講座1講座の計5講座を開講する。</li> </ul>
連携講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関へ連絡し、今年度と同程度の講座連携を目指す。</li> </ul>

## (2) 事業関係

項 目	予 定
本部学遊祭	・10月3日(土)に、開催する。
地区学遊祭・ キャンパス フェスティバル	・次の期日に開催する。 【新川】10月24日(土) 【富山】10月31日(土) 【高岡】10月23日(金)・24日(土) 【砺波】10月31日(土)
カレッジ叢書	・令和8年度に開催する大型講座についても、1講演分を発行・配布する。
学習活動支援 サービス	・受講者へサービスの紹介を行い、「県民カレッジカード」の所有者や新とやま学遊ネットにおける「マイページ会員」の増加を図る。

## (3) 映像活用推進関係

項 目	予 定
ふるさととやまの 映像の制作と配信	・郷土学習教材を制作・配布する。 ・貴重映像の保存・活用を推進する。 ・「とやまデジタル映像ライブラリー」を更新する。
優秀映像鑑賞 推進	・上映会(無料)を年間、約80回する。
映像の貸出等活用 支援	・「県映像センター利用カード」の発行する。 ・貸出が増えるようタイムリーな広報活動に努める。 ・映像工房の利活用促進に努める。

## Ⅱ 富山県民生涯学習カレッジの運営に係る現状と課題

### 1 学習情報の収集・提供と学習相談への対応について

#### <現状>

項目	実績				
学習情報提供	・富山県生涯学習情報提供システム(とやま学遊ネット)を運用し、県民に各種講座等の学習機会・講師・学習団体など、生涯学習情報を提供した。				
	年度	R5(4~1月)	R6(4~1月)	R7(4~1月)	
	アクセス数	660,257(100%)	763,613(100%)	449,803(100%)	
	内容	一般情報等	304,256(46.1%)	416,079(54.5%)	124,833(27.8%)
		カレッジHP等	113,423(17.2%)	118,261(15.5%)	118,832(26.4%)
公民館ネット		242,578(36.7%)	229,273(30.0%)	206,138(45.8%)	
学習相談	・各種講座の受講相談や、講師照会・講座内容の企画相談、視聴覚教育・機材の利用、映像制作等についての県民からの相談に対応した。				
	年度	R5(4~1月)	R6(4~1月)	R7(4~1月)	
	学習相談件数	11,655(100%)	9,501(100%)	8,297(100%)	
	手段	来所	7,336(62.9%)	5,820(61.3%)	4,478(54.0%)
		電話	3,166(27.2%)	2,402(25.3%)	2,328(28.1%)
メール等		1,153(9.9%)	1,279(13.5%)	1,491(18.0%)	

#### <課題>

#### (1) 「とやま学遊ネット」やメディアを活用し、学習情報提供をより充実させること

「とやま学遊ネット」のアクセス数は、1月末時点で昨年度より約31万件減っているが、これは本年2月に機械的なアクセスによる異常な数が計上されたことから、4月から一般情報等の集計方法を変更したことによるものである。機械的なアクセスを完全に除外することは難しいが、現在のアクセス数はほぼ実際のアクセス数であり、「とやま学遊ネット」は県内の生涯学習情報を広く県民に伝える役割を担っていると考えている。

一方、県民カレッジホームページについては、使い勝手が悪い、掲載している情報が古いなどの指摘もあり、情報更新とシステム更新を利用者の視点に沿って確実に行っていきたい。

また、より広い層に生涯学習の情報を伝える手段として、メディアの利用は重要で映像センターでは、頻繁にSNSや広報誌などで情報を発信しており、広い層に対して県民カレッジに関心を持ってもらうことにつながっている。

#### (2) 学習相談の一層の充実を図ること

生涯学習に関する県民からの学習相談は、本部及び4地区センターにおいて、来所、電話、メール等で実施している。1月末時点で昨年度より1,200件減となっている。その理由の1つがネットでの申込が増えていることから来所の必要がなくなったことではないかと考えている。

電話での問い合わせ内容には、ネット申込の確認や相談、メールでの問い合わせ内容も「学遊ネット」の情報に関するものが多く、ネット利用が進んでいる。問い合わせに対しては、対面でもネットでも丁寧な対応を心がけたい。

2 多彩な学習機会の提供について

<現 状>

項 目	実 績																																																													
講座開講数 受講者総数	<p>・大型講座として、「夏季講座」「みらい創造講座（新規）」、 通年講座として、「こどもまんなか教室（新規）」、「つながる学びわく わく講座」、「自遊塾」、「共学講座」、「映像センター講座」、 委託講座として、「教養講座」、「広域交流講座」を開講した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座開講数</td> <td>69</td> <td>249</td> <td>245</td> <td>248</td> <td>241</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>受講者総数</td> <td>2,014</td> <td>3,576</td> <td>3,952</td> <td>4,900</td> <td>4,541</td> <td>4,681</td> </tr> </tbody> </table>		R2	R3	R4	R5	R6	R7	講座開講数	69	249	245	248	241	242	受講者総数	2,014	3,576	3,952	4,900	4,541	4,681																																								
	R2	R3	R4	R5	R6	R7																																																								
講座開講数	69	249	245	248	241	242																																																								
受講者総数	2,014	3,576	3,952	4,900	4,541	4,681																																																								
年代別 講座受講者割合	<p>・内容を工夫したり土日開催にしたりして、現役世代を含む幅広い県民に 講座を開講している</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th></th> <th>～50歳代</th> <th>60歳代</th> <th>70歳代～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">大型 講座</td> <td rowspan="2">夏季講座</td> <td>R7</td> <td>32%</td> <td>28%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>31%</td> <td>33%</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">みらい創造講座 ウェルビーイング実現講座</td> <td>R7</td> <td>31%</td> <td>28%</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>34%</td> <td>30%</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">通年 講座</td> <td rowspan="2">つながる学びわく わく講座</td> <td>R7</td> <td>4%</td> <td>22%</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>5%</td> <td>19%</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自遊塾</td> <td>R7</td> <td>10%</td> <td>27%</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>8%</td> <td>29%</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">教養講座</td> <td>R7</td> <td>2%</td> <td>18%</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1%</td> <td>25%</td> <td>74%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・小学生とその家族が地域の魅力を体験しながら学ぶ機会を提供する「こ どもまんなか教室」を令和7年度から開講した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>募集</th> <th>受講家族</th> <th>子ども</th> <th>おとな</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80組 (4地区各2講座計8講座)</td> <td>71組</td> <td>90名</td> <td>78名</td> </tr> </tbody> </table>				～50歳代	60歳代	70歳代～	大型 講座	夏季講座	R7	32%	28%	40%	R6	31%	33%	37%	みらい創造講座 ウェルビーイング実現講座	R7	31%	28%	41%	R6	34%	30%	36%	通年 講座	つながる学びわく わく講座	R7	4%	22%	75%	R6	5%	19%	76%	自遊塾	R7	10%	27%	62%	R6	8%	29%	63%	教養講座	R7	2%	18%	79%	R6	1%	25%	74%	募集	受講家族	子ども	おとな	80組 (4地区各2講座計8講座)	71組	90名	78名
			～50歳代	60歳代	70歳代～																																																									
大型 講座	夏季講座	R7	32%	28%	40%																																																									
		R6	31%	33%	37%																																																									
	みらい創造講座 ウェルビーイング実現講座	R7	31%	28%	41%																																																									
		R6	34%	30%	36%																																																									
通年 講座	つながる学びわく わく講座	R7	4%	22%	75%																																																									
		R6	5%	19%	76%																																																									
	自遊塾	R7	10%	27%	62%																																																									
		R6	8%	29%	63%																																																									
	教養講座	R7	2%	18%	79%																																																									
		R6	1%	25%	74%																																																									
募集	受講家族	子ども	おとな																																																											
80組 (4地区各2講座計8講座)	71組	90名	78名																																																											
オンライン受講	<p>・令和3年度後期よりオンライン配信を開始し、自宅での受講が可能とな った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度（講座数）</th> <th>R5(23講座)</th> <th>R6(21講座)</th> <th>R7(17講座)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オンライン受講者 (受講者に占める割合)</td> <td>128名 (16.9%)</td> <td>146名 (18.6%)</td> <td>119名 (21.4%)</td> </tr> </tbody> </table>	年度（講座数）	R5(23講座)	R6(21講座)	R7(17講座)	オンライン受講者 (受講者に占める割合)	128名 (16.9%)	146名 (18.6%)	119名 (21.4%)																																																					
年度（講座数）	R5(23講座)	R6(21講座)	R7(17講座)																																																											
オンライン受講者 (受講者に占める割合)	128名 (16.9%)	146名 (18.6%)	119名 (21.4%)																																																											
電子決済申込	<p>・令和6年度後期より電子決済による受講申込を導入した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度（講座数）</th> <th>R5(3講座)</th> <th>R6(3講座)</th> <th>R7(3講座)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子決済申込者 (受講者に占める割合)</td> <td>620名※ (43.7%)</td> <td>330名 (24.8%)</td> <td>507名 (32.5%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5はネット申込で受講料は当日現金払い</p>	年度（講座数）	R5(3講座)	R6(3講座)	R7(3講座)	電子決済申込者 (受講者に占める割合)	620名※ (43.7%)	330名 (24.8%)	507名 (32.5%)																																																					
年度（講座数）	R5(3講座)	R6(3講座)	R7(3講座)																																																											
電子決済申込者 (受講者に占める割合)	620名※ (43.7%)	330名 (24.8%)	507名 (32.5%)																																																											

## <課 題>

### (1) 県民の学習ニーズに対応した講座を開設し、主催講座の受講者数を増やしていくこと

県民の学習ニーズを踏まえて、今年度は主催講座を昨年度とほぼ同数の242講座開設した。一方、講座を計画したが受講者が集まらず、開講できなかった自遊塾の講座が5講座あった。

受講者数についても大きな変化は見られなかったが、「つながる学びわくわく講座（地区連携型）」の講座は、大幅に受講者数が増えている。対面とオンラインを組み合わせた講座であり、「城」というテーマへの関心が高かったのではないかと考えている。(55名(R6)→153名(R7))

大型講座についても募集定員を3講座とも満たしたことから、県民のニーズを把握して計画することの大切さを改めて実感している。

### (2) 現役世代の受講者を増やしていくこと

主催講座の受講者の年齢分布を見ると、土日開催の大型講座は、現役世代が一定割合を占めるものの、通年講座は70歳代以上の受講者が6割から8割を占めている。また、リピーターの受講が多いことから現役世代へのSNSなどを利用した広報活動を充実させ、新たな受講層を開拓する必要がある。

今年度より、小学生とその家族を対象とする「こどもまんなか教室」を開講した。自然探検や理科実験などを取り入れた体験型の講座では、募集開始すぐに定員が埋まったり、どの講座も次回も受講したいと言った回答が多いなどニーズが高い。来年度も継続し、この講座を通して親世代の生涯学習にもつなげていきたい。

#### 【昨年度運営会議におけるご意見】

お子さんを対象とすると、保護者も確実についてこられるほか、家に帰ってから探究的に自分で好きなことを広げることにつながるため、多彩な活動をお願いしたい。

### (3) オンライン配信の講座を充実させること

今年度で5年目となるオンライン配信での受講者の、受講者全体に占める割合は増加している。受講者の感想には、他地区の講座も受講できること、高齢者にとって移動の心配がないことなど長所が多い。今後も要望が増えると予想されることからオンライン配信のための環境を整備していきたい。

### (4) 新しい受講申込方法を普及させること

昨年度より受講申込と受講料支払に電子決済システムを導入し、窓口に来なくても、また、時間も気にすることなく申込ができることから電子決済での申込が増えている。

また、今年度の後期講座より、高校で開催している「共学講座」において講座の申込を電子申請・電子納付に変更した。講座によって申込方法が異なっていることから、受講者が混乱しないように丁寧な説明が必要である。

### ③ 映像による学習支援について

#### <現 状>

映像の貸出等 活用支援	・学習教材等の貸出 ※所蔵学習教材数 約 11,000 タイトル												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7 (1月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出本数</td> <td>1,241 本</td> <td>1,758 本</td> <td>(2,544 本)</td> </tr> <tr> <td>視聴者数</td> <td>36,296 人</td> <td>25,437 人</td> <td>(39,606 人)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R5	R6	R7 (1月末)	貸出本数	1,241 本	1,758 本	(2,544 本)	視聴者数	36,296 人	25,437 人	(39,606 人)
	年度	R5	R6	R7 (1月末)									
貸出本数	1,241 本	1,758 本	(2,544 本)										
視聴者数	36,296 人	25,437 人	(39,606 人)										
・「とやまデジタル映像ライブラリー」視聴可能件数 2,202 タイトル ・映像センターYoutube チャンネルの開設 視聴可能件数 39 タイトル													
優秀映像鑑賞 推進	・優秀映像上映会の開催 (ハイビジョン学習室、各地区センター)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7 (1月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>81 回</td> <td>81 回</td> <td>(71 回)</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,586 人</td> <td>1,780 人</td> <td>(2,076 人)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R5	R6	R7 (1月末)	開催数	81 回	81 回	(71 回)	参加者数	1,586 人	1,780 人	(2,076 人)
	年度	R5	R6	R7 (1月末)									
開催数	81 回	81 回	(71 回)										
参加者数	1,586 人	1,780 人	(2,076 人)										
ふるさととやまの 映像制作	・ふるさと富山の自然や文化に関する学習に活用できる郷土学習教材 「技と心をつないで 越中福岡の菅笠」 全国自作視聴覚教材コンクールへの出品 (R6 最優秀賞 [文部科学大臣賞]) 「昆布ロード 富山人のあゆみ」 (R5 優秀賞) 「越中横綱伝 梅ヶ谷と太刀山」等 58 作品												
	・昭和 100 年・戦後 80 年特集～郷土のあゆみをたどる～ <b>R7 特集</b>												

#### <課 題>

#### (1) 研修会や地域行事での映像学習教材等の団体での利用を一層増やしていくこと

前年度は、個人利用が大幅に増加した一方で、学校や企業等団体への貸出は減少していた。今年度は学童施設や県小学校教育研究会に加え、県公民館連合会や県PTA連合会、県民生活課等との連携のもと各団体の研修会や行事の際に広報活動する機会を得た結果、団体での利用並びに視聴者数は大幅に増加した。また、団体への貸出期間を 14 日間に延長した。本センター所蔵の作品は上映権付であり、そのメリットを十分に活かすべく、懐かしのふるさと映像に加え、交通安全や防犯、災害対策等タイムリーな作品紹介と共に、団体貸出の充実を図ることに努めたい。

#### (2) 郷土に関わる貴重映像の保存と生涯学習での利活用を一層推進していくこと

本センターには県民から寄贈された作品も含め「ふるさと富山」に関わる貴重なフィルムやビデオテープが多数保管されている。今では見ることのできない「町並み」「暮らしの様子」等が描かれた映像を、県の文化的な財産として残すべく順次デジタル保存し、生涯学習での利活用促進のための企画を考えていく必要がある。また、テレビ局等とも連携し、ニュース報道等での利用申請があった場合も提供していきたい。

#### (3) 優秀映像上映会の新たな参加者を一層増やしていくこと

子供と保護者対象の「おやこシアター」(夏期・冬期各 4 回実施)は、保育園・幼稚園への重点的な広報活動の結果、多くの来場者で賑わった。アンケートからも子育て世代には関心が高いイベントであることがうかがえた。定例「わくわくシアター」(各月 3 回実施)は上映作品によっては満席の回もあった。今後も、世間で関心が高いタイムリーなテーマ設定での作品選定や関係団体等への広報活動等を実施していきたい。

#### (4) 映像センター施設の新たな利用者を一層増やしていくこと

利用者・団体の固定化の傾向が見られる、ハイビジョン学習室利用条件緩和や広報活動の結果、新規利用がやや増加した。映像工房についてはやや低迷しているので、ビデオテープ 2025 年問題に関する事業を中心に新規利用者やリピーター獲得に努めたい。

#### (5) 制作する郷土学習教材のテーマ・内容を検討すること (3 年計画)

(過去のテーマ) 菅笠、昆布、横綱、橋、水、藤井能三、川、曳山、富山湾 等

#### 4 学習交流や学習成果の発表の支援について

##### <現 状>

項 目	実 績						
学遊祭 キャンパス フェスティバル 参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年10月3日(土)に開催した学遊祭は、県民カレッジ、生涯学習団体協議会、雷鳥会が共催し、県民に対して学習の成果を発表した。ホールでは、「みらい創造講座」も行った。</li> <li>各地区センター講座の受講者等が、日頃の学習の成果を発表することで交流した。</li> </ul>						
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	本 部	686	472	578	979	1,137	1,667
	4地区	1,934	1,092	1,215	2,340	2,482	2,363
合 計	2,620	1,564	1,793	3,319	3,619	4,030	
本部学遊祭 発表団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>本部学遊祭では、生涯学習団体・自遊塾などの学習成果を披露する場として、ステージにおける発表および展示発表を開催している。</li> </ul>						
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	ス <span style="font-size: small;">テ</span> ージ			3	6	7	11
	展 示	3	7	7	5	6	7
合 計	3	7	10	11	13	18	

##### <課 題>

#### (1) 学遊祭、キャンパスフェスティバルへの参加者を増やしていくこと

本部、地区センターとも、コロナ禍による状況から脱してきていると思われる。本部においては特に令和7年度のステージ発表、映像センター所蔵作品上映会、講演会の来場者が大幅に増加している。

ステージ発表の団体が増えることで、観客としての来場者も増えており、また、来場者の興味・関心を引く映像作品の上映や講演会を企画することが来場者の増加につながることから県民のニーズを把握することは大事である。

#### (2) 発表団体が参加できる交流の場を提供すること

ステージ発表や展示等を通した学習交流は、学遊祭・キャンパスフェスティバルの大きな柱の一つである。今年度、本部学遊祭でのステージ発表、展示発表の団体は増加したが、コロナ禍前の数には戻っていない。(R元 ステージ発表13団体、展示発表:14団体)

日頃の学習成果を発表することも生涯学習の大事な一面であることから、ここでの発表を一つの目標として日々の活動に励んでもらえるよう、7それぞれの団体や講座に働きかけたい。今後、発表団体を増やすことができるかが課題である。

#### 【昨年度運営会議におけるご意見】

地域活性化のために、このような発表機会を得ることによって、参加者の生きがいや自己肯定感を高めていくこと意は非常に大切である。